

平成17年度提案事業経過報告資料(市民活動課聞き取り資料)

No	事業名	提案者 担当課	検討結果報 告内容	検討結果報告会後の経過	実施状況	今後の課題[参考:協働事業振り返りシート]
協定を締結し事業を行っているもの						
1	市役所関連施設の忘れ物傘の 再利用(リユース)事業	二条通り商店街振興組合 エコ倶楽部 契約管財課 環境総務課 産業振興課	協働事業と して推進した い	協議:全5回(H17.11~H18.1) 実施打ち合せ:1回(H18.2)	* 締結日:平成18年1月25日 * 事業期間:協定締結日から平成18年3月 31日(年度ごとに3回まで更新可能)  3月31日より傘の貸し出し開始 ・傘の設置店舗数:31店 ・リユース傘合計60本:市役所(28)、市民寄 附(20)、二条通商店街独自(12)	行政 本庁舎以外の施設における忘れ物傘の提供  市民 ・本庁舎以外で傘の提供可能な施設を探す ・市民から傘の寄付を集る仕組み作り
2	高齢者の体力作り支援事業	社会福祉法人敬愛会敬愛 の園 高齢者福祉課	協働事業と して推進した い	打ち合せ2回(H17.8~)	* 締結日:平成17年10月5日 * 事業期間:平成17年10月5日~18年3 月31日  第1回体力づくり教室開催 10月5日~12月28日 週1回 参加者7名 第2回体力づくり教室開催中 1月11日~3月29日 週2回 参加者7名	市民 修了者に対して、「継続性」をもたせるための対応  行政 ・運動や活動的な生活を継続すること。 ・制度の対象とならない高齢者の介護予防につながるプログラム が少ない。
3	防犯マニュアル作成事業	防犯マニュアル作成チーム	-	防犯交流会(H17.9) 防犯マニュアル作成会議:全6回(H17. 11~H18.3) 協力:神奈川県くらし安全指導員、教育総 務部指導室	* 締結日:平成17年12月22日 * 事業期間:平成17年12月22日~19年3 月31日  チームから教育長へ防犯マニュアル220 0部を配付依頼(H18.3)	市民 事件発生の現場調査と子ども・先生との対話  行政 ・18年度までの継続事業 ・17年度の防犯マニュアルは、18年度小学校新入学生に対して 配付
4	道路環境美化ボランティアの里 親制度(アダプト・プログラム)	つきみ野まちづくり委員会 たのしい会・大和秋香会 東京電力(株)相模原支社大 和営業センター NTT東日本神奈川県央営 業支店	-	個別調整	* 合意書締結日:平成17年10月25日  公所中央林間線~東急田園都市線(H1 7.10~H18.3 年間5回 6人/回) 満天宮1号~国道467号(H17.12~H 18.3 年間5回 10~23人/回) 南大和相模原線深見西46号の一部(H1 7.11~H18.3 年間5回 5人/回)	市民 ・清草取りをおこなった。今後参加人数が増えるか。 ・より多くの人の活動への参加  行政 ・協働事業のPR不足のため、事業を知らない市民等が多い。
5	“ふくしの手 全員集合”	NPO法人ワークスコレティブ 想 パパポラやまと 社会福祉法人敬愛会	-	打ち合せ会:2回(H17.8~9) 調整協議:6回(H17.10~H18.3)	* 締結日:平成17年10月1日 * 事業期間:協定締結日から平成18年3月 31日(年度ごとに3回まで更新可能)  「ふくしの手 人材育成講習会」実施:3日 (H18.2~3) 「地域福祉フォーラムやまと 2006」への 参画	市民 ・チャンスをもう一度も二度も分かち合うことで行動に移せるので はないか。 ・人材育成講習会の継続性や主旨が各事業所任せになっていて よいのか検討が必要。  行政 ・人材育成講習会について、今年度の取り組みを参考にして、参 加者の集まりやすい企画の検討を行う。 ・事業を通じて、さらにネットワーク(ふくしの手)を広げて行きたい と思います。 市社協との活動内容の違いを明白にしていけないと継続性が失 われる可能性がある。 ・「人材発掘・人材育成 Q&A」策定

平成17年度提案事業経過報告資料(市民活動課聞き取り資料)

No	事業名	提案者 担当課	検討結果報 告内容	検討結果報告会後の経過	検討・実施状況	その他
協定を締結せず、行政との協働関係を築き、独自の活動を行っているもの等						
6	資源ごみの出し方変更に関する 市民説明会協働事業開催	環境総務課	-	市民説明会資料作成等作業グループ: 全5回(H17.12~H18.1)	クリーンやまと2006作成	-
7	市民へのより良いスポーツ環境 の提供	NPO法人 リアライズ スポーツ課	総合型地域 スポーツクラ ブの創設に ついて検討 継続	具体的な協議はない。	-	行政:団体の持っている総合型地域スポーツクラブの創設に関するノウハウは活かしたい。
8	出張教室からひろがる温暖化を 考える会	五十嵐 典生 環境総務課	情報提供及 び相談への 適宜対応	情報提供	環境立市フェアへ出展(H17.11) つきみ野学習センターイベント参加 ・クイズを通じた電力についての知識普及 (ソーラーおもちゃなども活用)	・今後も継続的な情報提供をしていく。
9	つきみ野けやき並木再生に向け て	つきみ野けやき並木を考 える有志の会 土木管理課 土木総務課	協働事業へ の検討継続	つきみ野けやき並木道検討プロジェクト 会議:全5回(H17.7~H18.1) パブリックコメント実施(H18.3~)	同プロジェクトの検討に基づき、試行剪定 に一部着手開始。	市民 ・つきみ野けやき道に関して、行政が独自の対応をしたという認識。提案者が考えていた協働の形とは異なる。 行政 ・試行剪定の経過を検証していく。
10	つま自然の森 緑育事業 - 緑 を育て、緑で育つ -	リーフパイ 水と緑課	協働事業へ の検討継続	協議(H17.9~H18.3) ・月に1回集まって、子どもを集める方法や 森のあり方について検討	リーフパイの活動は継続的に実施 森の市境の柵が改修された。 ぬかるんだ散策路にチップが敷かれた。 掲示板が1ヵ所増設された。 市有地ならびに定方寺さんのヒノキ林が枝 打ちされて林床が明るくなった。	・市民団体(2)・行政の3者で話し合いを継続。お互いに直接顔を 合わせて話をするのは良い。 ・18年度のワークショップは、順調に船出をした。
11	カラオケとふれあいの場「ミニディ サロン」	ニコニコ会 高齢者福祉課 障害福祉課	協働事業へ の検討継続	協議:3回(H17.11~12) 内容:事業概要・計画の具体化、市担当 課との調整	・平成18年度は、法律改正など状況がどうな るか分からない状況では、協働事業とすること は難しい。 ・提案者が現在行っている事業を継続して実 施。この事業の中で、市が協力できるところ は協力し、実績をつくる。	・個人利用による活用から団体の申し込みによる活用へ
12	空き店舗活用による子どもの居 場所作り	NPO法人地域家族しん ちゃんハウス 産業振興課 児童育成課	協働事業へ の検討継続	情報提供(窓口での対応を含め、資料送 付を2回)	・継続的な協議を行っていく。	・担当窓口を絞り込んで、協議を継続していく。広げすぎず、ひとつ ずつ、できることをやっていく。
13	新体操教室	大和市体操協会 スポーツ課	総合型地域 スポーツクラ ブの創設に ついて検討 継続	具体的な協議はない。	-	-

平成17年度提案事業経過報告資料(市民活動課聞き取り資料)

14	やまと子ども文芸大賞 (まほろば子ども文芸大賞を改称)	「やまと子ども文芸大賞実行委員会」 (まほろば子ども文芸大賞実行委員会を改称) 大和市教育局 指導室	学校へのPR など後援により連携可能	事務手続き等諸調整	「やまと子ども文芸大賞」と改称して、 作文・スピーチ発表大会を平成18年3月5日 (日)に実施した。 参加者:200名超 作文応募数:202点 後援:大和市、大和市教育局 協賛:市内外の企業・団体	・準備期間が短かったため、学校などに対する応募の働きかけが不十分であった。もっと前広に開催日を決めてPRする必要がある。 ・開催時期の検討。 ・市内の青少年に係わる団体との連携が必要。 ・次回開催に向けての、市民への継続的な認知度アップ対策。(3月5日発表大会当日に参加者の協力得て実施したアンケートを参考に、制作したDVDなどを使用して)
----	--------------------------------	--	-----------------------	-----------	--	---